



実地研修を始める前に（指導看護師用）



実地研修を正しく始めるために、以下の事項を必ず確認してください。

1 研修対象者等の確認

利用者及び利用者の特定行為（実地研修実施予定行為）につきましては、受講者が所属している介護事業所へご確認ください。

- * 特定行為の追加や利用者等の追加はできません。
- * 予定していた特定行為のうち、不要になった行為がある場合は、介護事業所に連絡してください。

2 研修する行為の確認

実地研修で行う特定行為は、研修テキストで学ぶ範囲内の行為ですか？

- * テキストで学ぶ範囲外の行為は、原則として実地研修としては行えません。
- * 実地研修の円滑かつ安全な運用のために 財団で加入している 保険適用の範囲外となる場合があるため、不明な点は必ず事前にご連絡ください。

【実地研修の評価としては行えない主な行為】

- ① ネブライザーの使用
- ② 永久気管孔のある方のたんの吸引
- ③ カニューレの奥（気管内部）の部分の吸引
- ④ 経管栄養による薬物の服用
- ⑤ 食道ろうによる経管栄養
- ⑥ 経鼻経管でのシリンジによる栄養剤の注入

※「医療的ケア児」に対する経鼻経管栄養において、医師の指示に基づき、「点滴栄養剤をシリンジで注入する手段（半固形栄養剤を除く）」

を行う場合には、必ず 実施前に 当財団 たんの吸引担当 まで ご連絡ください。

（※事前に連絡なく実地研修を行った場合は「無効」扱いとなりますので、ご注意ください。）

3 実地研修方法の確認

受講者が一人で特定行為の全手順（通常のケアと同様の手順）を実施した時のみを評価対象にしていますか？

- * 以下の場合には実地研修として認められません。

例) 経管栄養剤を注入しない、吸引カテーテルを挿入しない等、模擬（シミュレーション）で研修を実施した場合
研修用に手順を省略した場合

4 評価票の確認

評価票は、東京都で定めた様式になっていますか？

- * 令和6年度から評価票は変更となりました。

実地研修は、同送の評価票 もしくは、財団のホームページからダウンロードしたものを必ずご使用ください。



評価票の記入ポイント



別紙「評価票記入例」も、必ずご確認ください

1 評価票の組み合わせは正しいですか？

* 評価票は9種類あります。利用者の状況に合わせてご使用ください。

- ・ 口腔内吸引(通常手順) ① (人工呼吸器) ② ・ 鼻腔内吸引(通常手順) ③ (人工呼吸器) ④
- ・ 気管カニューレ内吸引(通常手順) ⑤ (人工呼吸器) ⑥ ・ 胃ろう又は腸ろう (滴下) ⑦
- ・ 胃ろう (半固形) ⑧ ・ 経鼻胃管 ⑨

2 評価票の記載に不備はありませんか？

～よくある間違い例～

◎【気管カニューレに人工呼吸器を装着している利用者に、口、鼻、気管カニューレのたん吸引を行う場合】

正しい組み合わせ (○)

- ①口腔 (通常手順)
- ③鼻腔 (通常手順)
- ⑥気管カニューレ (人工呼吸器)

誤っている組み合わせ (×)

- ②口腔 (人工呼吸器)
- ④鼻腔 (人工呼吸器)
- ⑥気管カニューレ (人工呼吸器)

※気管カニューレに人工呼吸器が装着されている利用者に対して 喀痰吸引 (気管カニューレ) の実地研修を実施する場合は、「気管カニューレ (人工呼吸器) 評価票」を使用してください。さらに、口腔内及び鼻腔内に対する喀痰吸引の実地研修も行う場合は、「口腔内 (通常手順)」又は「鼻腔内 (通常手順)」の評価票を使用してください。

※上記の内容に当てはまらない又は使用する評価票の組み合わせが分からない場合は、必ず実地研修実施前までに財団「たんの吸引担当」までご連絡ください。

◎【利用者・実施日時・特定行為の組み合わせ間違い (同じ利用者に対して、別の特定行為が同一日 時になっている)】

気管カニューレ内吸引 (人工呼吸器) の評価票

口腔内吸引 (通常手順) の評価票

(R6より改定)

利用者氏名 (青ヶ島 三郎)

気管カニューレ
内吸引
(人工呼吸器)

氏名 (青ヶ島 三郎)

口腔内吸引
(通常手順)

人工呼吸療法) >

指導した。

青ヶ島 三郎さんに対して

9/20 12:30に

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
月 日【必須】	9/20	9/21	9/22	/	/
時間【必須】	12:30	15:00	17:00		

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
月 日【必須】	9/20	9/21	9/22	/	/
時間【必須】	12:30	15:00	17:00		

口腔内と気管カニューレ内の吸引を同時に実施？

評価票の記入例

C 面

実地研修用評価票（R6より改定）

受講者氏名（ 福祉 一郎 ）（受講番号： Z〇〇〇〇 ）利用者氏名（ 青ヶ島 三郎 ）

口腔内吸引
（通常手順）

<評価票 1. 口腔内吸引(通常手順)>

達成度	ア. 1人で実施できる。評価項目について手順通りに実施できている。 イ. 1人で実施できる。評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。実施後に指導した。 ウ. 1人で実施できる。評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。 その場では見過ごせないレベルであり、その場で指導した。 エ. 1人での実施を任せられるレベルにはない。
-----	--

あ 全項目について
記入してください

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
9/20	9/21	9/22	/	/	
13:00	13:00	17:00			
評価	評価	評価	評価	評価	評価
実施準備	ア	ア	ア		
1 水と石けんで手洗いをする。	ア	ア	ア		
2 医師の指示書を確認する。	ア	ア	ア		
3 対象者本人・家族もしくは記録にて、体調を確認する。	ア	ア	ア		
実施	ア	ア	ア		
4 吸引の必要性を説明し、対象者の同意を得る。	ア	ア	ア		
5 吸引の環境、対象者の姿勢を整える。	ア	ア	ア		
6 口の周囲、口腔内を観察する。	ア	ア	ア		
7 流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。	ア	ア	ア		
8 使い捨て手袋をする。場合によってはセツシを持つ。	ア	ア	ア		
9 吸引カテーテルを不潔にならないように取り出し、吸引器に連結した接続管に接続する。	ア	ア	ア		
10 吸引器のスイッチを入れる。	ア	ア	ア		
11 決められた吸引圧になっていることを確認する。	ア	ア	ア		
17 吸引カテーテルの外側をアルコール綿で拭き取った後、吸引カテーテルと接続管の内壁を、洗浄水等で洗い流す。	ア	ア	ア		
18 非利き手で、吸引器のスイッチを切る。	ア	ア	ア		
19 【単回使用の場合】吸引カテーテルを接続管からはずし、破棄する。 【乾燥法の場合、薬液浸漬法の場合】吸引カテーテルを接続管からはずし、衛生的に保管容器に戻す。	ア	ア	ア		
20 手袋をはずす。セツシを使用した場合は元に戻す。	ア	ア	ア		
21 対象者に吸引が終わったことを告げ、喀痰がとり切れたかを確認する。	ア	ア	ア		
22 体位や環境を整える。	ア	ア	ア		
23 対象者の顔色、呼吸状態、吸引物の量や性状等を観察する。 （経鼻経管栄養を行っている場合、吸引後の口腔内に栄養チューブが出ていないか確認する。）	イ	ア	ア		
24 流水と石けんで、手洗いをする。	ウ	ア	ア		
報告	ア	ア	ア		
25 指導看護師に対し、吸引物、吸引前後の対象者の状態等を報告する。 ヒヤリ・ハット、アクシデントがあれば、あわせて報告する。	ア	ア	ア		
片付け					
26 吸引びんの廃液量が70～80%になる前に廃液を捨てる。					
27 保管容器や洗浄水等を適宜交換する。					
記録	ア	ア	ア		
28 実施記録を書く。 ヒヤリ・ハットがあれば、業務の後に記録する。	ア	ア	ア		
アの個数	24個	26個	26個	個	個

※ 手引きの手順を抜かしたり、間違えた内容を具体的に記述してください。評価がイ、ウ、エの場合、その理由を具体的に記述してください。

記入例) ③吸引物の観察を怠っていた。④を抜かした。

え

留意点・特記事項

※ 特定の対象者における個別の留意点（良好な体位やOKサイン等）について、把握した上でケアを実施すること。

変更点及び変更理由

記入例) ②⑥、⑦は家族が行うことになっているため、評価なし。

お

【基本研修（現場演習）の実施状況について】

実施研修を行う前に、利用者が使用している器具・機材等を用いて実施手順に従って繰り返し演習を行い、一連の手技が「手順どおりに実施できている」と確認しました。

指導看護師派遣事業所名

記入例) 中央訪問看護ステーション

指導看護師（署名）

記入例) 中央 あき子

か

◎評価票の手順を実施しない場合には、「留意点・特記事項」欄に理由を記入してください。

※手順を実施しない場合には、①評価票欄には必ず「/」を記入してください。

②「留意点・特記事項」欄に、必ず実施しなかった理由を記入してください。

◎基本研修（現場演習）の実施状況を確認する欄を設けました。

必ず指導看護師派遣事業所名を記載するとともに、指導した看護師の署名（自署）を行ってください。
※記載もれの場合は、再提出依頼の対象となります。